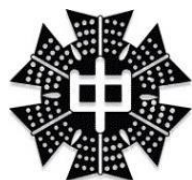


檜中だより



令和7年度 第6号
令和7年10月1日発行
檜原学園檜原中学校

《実りの秋、心を耕す季節》

校長 中村 祐子

朝夕の空気に秋の気配が漂い始めました。季節は確実に移ろい、私たちの心にも静かな変化をもたらしてくれます。9月25日・26日に実施された二学期中間試験では、生徒の皆さんが真剣に取り組む姿が印象的でした。結果に一喜一憂することもあるでしょう。しかし、何よりも大切なのは、試験に向けて努力した過程です。「自分と向き合い、苦手に挑戦した時間」こそが、確かな成長につながっています。

また、9月には生徒会役員選挙が行われ、新たなリーダーが選ばれました。立候補者の演説には、檜原中へのそれぞれの思いや願いが込められており、聞く側の心にも響くものがありました。選ばれた皆さんには、仲間の声を受け止め、責任ある行動を期待しています。そして、10月10日には後期生徒総会が予定されています。新しい体制のもとで、よりよい学校づくりに向けた話し合いが行われることを楽しみにしています。「一人一人が自分の花を咲かせられる学校」を作っていきましょう。

さらに、3年生は10月14日から16日の2泊3日で京都・奈良へ修学旅行に出かけます。これまで取り組んできた探究学習の集大成として、歴史や文化に触れながら、自らの問いを深める貴重な機会となることでしょう。仲間とともに過ごす時間の中で、学びと絆を育んでほしいと願っています。

9月13日から21日には、世界陸上2025が34年ぶりに東京で開催されました。村竹ラシッド選手や中島佑気ジョセフ選手、三浦龍司選手ら日本選手の挑戦する姿が多くの人々に感動を与えました。彼らの言葉や姿勢から、「悔しさを力に変える」「自分を信じる」「挑戦の過程にこそ価値がある」といった、私たちにも通じる大切なメッセージを受け取ることができました。

1年生は学校生活に慣れ、2年生は自分の役割を見付け、3年生は進路に向けて一歩ずつ歩み始めています。少人数だからこそ、一人一人の声が響き、挑戦が檜原中学校全体を動かす力になります。

秋は「実りの季節」と言われますが、「心の実り」は、日々の行動と向き合い方によって育まれます。どうかこの季節、皆さん自身の心を耕し、豊かな実りを迎えてください。

最後に私の好きな詩を紹介します。



秋のおたより
金子 みずぶ

山から町へのお便りは、
「柿の実、栗の実、熟れ候、
ひよどり、鶉、啼き候、
お山はまつりになり候。」

町から山へのおたよりは、
「燕がみんな、去に候、
柳の葉っぱが散り候、
さみく、さみしく、なり候。」



10月の予定

スクールカウンセラー(SC)来校日 (7日、14日、21日、28日) ★火曜日

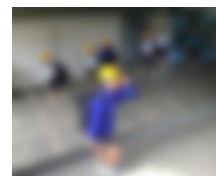
- 1日(水) 繰上げ時程、専門委員会
- 2日(木) 食育(1年)
- 3日(金) 食育(2年)、実力テスト(3年)、英語検定
- 6日(月) 標準着用期間開始、
- 7日(火) 食育(3年)
- 8日(水) 職員会議、校内研修会
- 10日(金) ⑥後期生徒総会、海外派遣事業報告会〔役場〕
- 13日(月) **スポーツの日**
- 14日(火) 修学旅行1(3年)、4h授業
- 15日(水) 修学旅行2(3年)、4h授業
- 16日(木) 修学旅行3(3年)、4h授業

- 17日(金) 4h授業、②時間目から登校(3年)
学年レク(2年)
- 20日(月) 朝礼、⑤⑥第2回進路説明会(3年)
- 22日(水) 繰上げ時程、②③合同体育、専門委員会
- 25日(土) 郷土芸能鑑賞教室兼道徳授業地区公開講座兼令和7年度海外派遣事業報告会録画上映、5h授業
- 27日(月) **振替休業日**
- 28日(火) 三者面談開始(3年)
- 29日(水) ⑤中教研授業(1年; 数学、2年; 英語、3年音楽)
- 31日(金) ⑤学園研究授業(3年)

9/2(火)実施「引き渡し訓練」 生活指導主任 豊留 匡博

7月に、震度5強の地震が発生したことを想定し、避難訓練を実施しました。今回の引き渡し訓練は、7月の避難訓練の続きという位置付けでした。

2学期開始早々ではありましたが、生徒たちはこれまでの訓練と同様、真剣に取り組むことができました。保護者の皆様には、お忙しいところ、ご協力をいただきありがとうございました。



9/8(月)実施「後期 生徒会役員選挙」 生活指導部 生徒会担当 鈴木 恵理

3年生が第一線から退き、下級生へとバトンをつなぐ選挙となりました。檜原中学校では、実際の選挙で使用される記載台と投票箱を村からお借りして、より本物に近い形で選挙を実施しています。生徒は、立候補者の演説を丁寧に聞き、これから檜原中を支え、先頭に立って導いてくれると信じる役員を選び、大切な一票を投じました。この選挙を通して、檜原中の一人一人が真剣に考え、みんなで協力して取り組める雰囲気がとても良く、これからも続いてほしいと思いました。



9/16(火)実施「セーフティ教室」 生活指導部 安全指導担当 吉井 勇登

今年度のセーフティ教室では、KDDIスマホ・ケータイ安全教室事務局、林田真一様を講師にお招きし、SNSの利用に関するトラブル等、中学生にも身近な事例を通して、インターネットの安全な利用方法について学びました。今や中学生のスマートフォン所有率は8割を超えと言われています。SNSは便利な反面、起こり得る危険も大きなものです。良さも含めて正しく理解して、適切に活用できるようにしましょう。



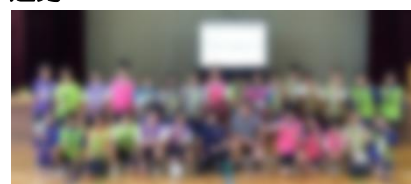
9/10(水)～12(金)実施「職場体験(2年)」 進路指導部 第2学年担当 瀬沼 祐子

今年度も村内外の事業所にご協力いただき、三日間の体験を行いました。初出勤までは緊張感が高まっていた生徒たちですが、出勤後は自分から申し出て働くなど、意欲的に取り組む様子が、帰宅の報告時でも伝わってきました。事後学習で学んだ「働くうえで大切なこと」は、「真剣さ」「責任感」「挨拶」「笑顔」「伝えること」とのこと。実体験で得たこれらの回答は重く、こうした体験をさせていただいた事業所の皆さまには、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



9/20(土)実施「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」 教務部 担当 小野 迪男

今年度は、ブラインドサッカー®元日本代表の寺西一選手、フアンリテーターの大山湧さんをお招きし、講話や実技体験等の特別授業を実施しました。生徒は、普段と違うサッカーに戸惑いながらも、楽しんでいました。また、成功談や挫折談、競技への情熱を聞くことで、諦めない心や努力の大切さなど、多くの気づきがあったようです。



9/29(月)実施「鑑賞教室」 文化的行事副委員長 山本 菜津美

今年度の鑑賞教室は、「アンサンブル・レネット」の皆様に公演をしていただきました。ワークショップでは、全身を使って音楽を表現し、ミュージカル公演では、「世界の音楽を体感しよう」のテーマで、様々な曲を演奏していただきました。「表現すること」の楽しさ、素晴らしさをたくさん感じられた一日となりました。



保護者の方へ

10月2日(木)に『災害等発生時における避難所の役割やその生活を知ること』を目的に「避難所の生活について」という資料と、「ビスケット(備蓄食品)」を配布します。(賞味期限は2026年4月までです。召し上がる方はご注意ください。)自宅付近の避難所や備蓄品の確認等、災害への備えを見直す機会にいただけるとありがたいです。

ビジョン

《一人一人が自分の花を咲かせられる学校 ウェルビーイング檜中》

- 生徒も教師も高め合える学校 ～檜中で学べて良かった・檜中で働けて良かった～
- 保護者・地域から愛される学校 ～檜中に通わせて良かった・檜中があって良かった～

学校ホームページ
二次元コード

